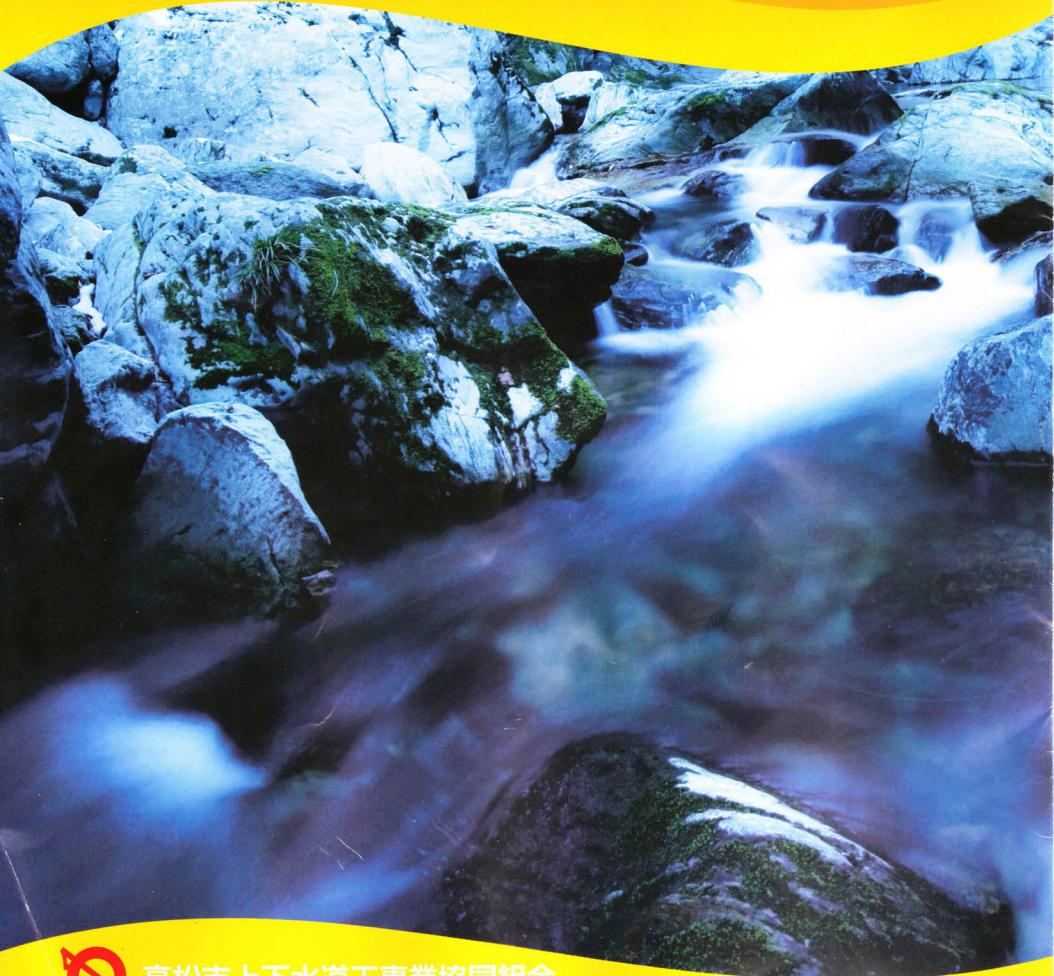


水だより

高松

第25号

発行2012年1月



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921



年頭所感

平成24年 年頭の挨拶

高松市上下水道事業管理者 稲垣 基通



新年明けましておめでとうございます。
平成24年の新春を迎えるに当たりまして、一言御挨拶を申しあげます。

新年あけましておめでとうござ
いります。
我々は地域社会のライフラインの維持管理や、万一一の災害時の復旧活動に主体的責務を果たし、高松市上下水道工事業協同組合として社会の負託と組合員企業の信頼に答える組合として変革することを目指します。

さて、本市では、お客さまサービスの向上と効率的な事業運営、水行政の一体的な推進、更には東南海・南海地震等に備えた危機管理体制の充実・強化などを図るため、昨年4月に上下水道事業を統合した新たな「上下水道局」が誕生しました。この間、職員ともども、お客さまから親しまれ、信頼される上下水道事業を目指し、従来にも増して、お客様との本位と効率化・コスト削減の徹底を目指す事業運営に取り組んでまいりました。

平成24年が皆様と共にとつて幸多き年となります事を心よりお祈り申し上げます。
この年、昨年3月11日に発生した、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の東日本大震災では、地震と津波により、東北地方を中心に、多くの被災地で上下水道施設が甚大な被害を受け、多くの被災地で上下水道施設が甚大な被害を受け、多大による汚水処理の停滞が発生するなど、住民生活に深刻な影響が及びましたことから、本市も応援給水のため、宮城・岩手両県の被災地に職員を派遣いたしました。改めて、ライフラインであります上下水道事業の重要性を痛感いたしますとともに、安全で良質な水道水の安定供給と安心で快適な生活環境の創出という、上下水道事業者としての使命を全うするためには、何倍にも増して、貴組合との深い「絆」が重要であるものとの認識いたしております。なお、一方の御理解と御協力をお願い申し上げる次第でございます。

結びに、東日本大震災や欧州の債務危機を背景として、景気は依然として厳しい状況にあります。が、この一年が高松市上下水道工事業協同組合員の皆様にとりまして実り多き年となりますこと、また、貴組合の更なる御発展を御祈念申しあげま

ごあいさつ

高松市上下水道工事業協同組合 顧問 三笠 輝彦

新年明けましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた平成24年がスタートし、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方におかれましては、穏やかな新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日ごろから、皆様方には、本市の上下水道業の普及促進に向けて、技術の向上や経営の改善などに積極的に取り組まれておりますこと、厚くお礼申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

さて、本市では、下水道事業につきまして、昨年4月から地方公営企業法の全部を適用するとともに、水道局と下水道部門を組織統合して「上下水道局」を設置し、経営の効率化と水源から川や海へと循環する「水循環」を一体的にとらえ、健全で持続可能な水行政の確立に向けて、新たな一歩を踏みだしました。

一方、渴水に強いまちづくりの実現のため、新たな水源確保対策や節水等による水道使用量の減少への取り組みまた、維持管理時代を迎えた上下水道施設の大規模



な更新・整備に加え、近い将来、発生が確実視される東南海・

南海地震に備えた耐震化等の震災対策、さらには、経営基盤の強化に繋がる県内水道事業の広域化問題など、新たな取組課題を含め、上下水道事業を取り巻く経営環境は大きな

転換期を迎えておりますが、住みよいまちづくりを実現する上で上下水道が果たす役割は大変重要であり、また、居住環境の向上を図るという重要な使命を果たすため、どうか組合員の皆様方におかれましては、一致団結し、水の安定給水を初め上下水道のさらなる普及促進と維持管理に、なお一層の御尽力を賜わりますようお願い申し上げます。

結びに、高松市上下水道工事業協同組合のますますの御発展と組合員皆様方の御健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、新春の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

高松市上下水道局 維持管理課長 西山 勝年

新年明けましておめでとうございます。

高松市上下水道工事業協同組合の中川理事長をはじめ、組合員の皆様方には、常日頃から本市の上下水道事業に対しましてご理解とご協力を賜るとともに、市民生活と社会基盤を支える最も重要なライフルラインである上下水道の整備や維持管理に日夜ご尽力いただいておりますことに対しまして、心から敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。

昨年は、3月11日に国内観測史上最大のマグニチュード9.0という未曾有の大地震であります平成23年東北地方太平洋沖地震が発生し、ライフルラインとしての上下水道施設の重要性が改めて注目された年となりました。水道局におきましては、日本水道協会の要請に応えて、直ちに給水車など車両3台と職員5名を被災地に派遣いたしました。

高松市上下水道局では、この震災を教訓として、市民の生活を支える重要なライフルラインとしての役割を果たすよう、上下水道施設の耐震化率の向上を図り、断水範囲や浸水被害の低減に努めていきたいと考えております。



さて、本市では、4月に水道局と下水道部門3課を組織統合し、上下水道局を発足しました。上水道と下水道に共通している業務の一体化や類似業務の統合による経営コストの削減、上下水道の連携強化によるお客様サービスの向上、水行政の一体的な推進、危機管理体制の充実・強化を図っているところであります。

お客様のニーズを的確に把握し、信頼に応えられるような上下水道事業を推進するには、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方のご理解とご協力が不可欠でございまして、これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、高松市上下水道工事業協同組合のますますのご発展と、この一年が組合員の皆様にとりまして実り大きい年となりますことをご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

高松市上下水道局 給排水設備課長 三崎 文夫



副理事長
岩井 裕一
孝博

平成24年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

高松市上下水道工事事業協同組合の皆様には、本市の上下水道行政の推進に格別の御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、3月11日に発生致しました東日本大震災や9月の集中豪雨により、改めて自然の驚異と、防災に対する備えの重要性について痛感した年であったと存じます。

本市の上下水道事業は、これまでの整備拡大の時代から、維持管理の時代へと、そのありかたも転換していく中で、昨年、4月に上下水道事業を統合した新しい上下水道局として生まれ変わった年であり、給排水設備工事を担う組合員の様はもとより、お客様に対するサービスを一層向上するとともに、経営コストを節減し、危機管理体制の充実・強化を目指してまいりましたが、組合員の皆様方の暖かい御理解、御協力をよりなんとか順調なスタートを切ることが出来ました。

また、本年、4月からは、「給水装置工事施工基準」の香川県内版を高松市でも採択し、県下の各水道事業体と情報交換を一層密にすることにより、施工基準の統一を促進するとともに、給排水設備工事の窓口一元化と合わせて、施工業者の皆様の御負担の軽減を図るよう、取り組んで参ります。

今後とも、市民生活に最も重要なライフラインである、上下水道事業の推進と発展には、組合員の皆様方の更なる御理解と御協力をお願いし、高松市上下水道工事事業協同組合の益々の御発展と組合員皆様の御健勝御活躍を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。

副理事長
太善一(業務)

阿野 善一

理事
高尾一(業務)

高尾 保

理事
高木 新一

高木 新一

理事
藤澤 由晴

藤澤 由晴

専務理事といった大役に就き、早く始めが終りました。本当に良い経験をさせていただきました。今年も前向きな気持ちで組合活動に取り組んで参りたいと思います。

新年度は何事も全部忘れられるよう自然で生きたいものです。景気が少しでも良くなるよう、祈つておる



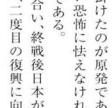
専務理事
松浦 一郎



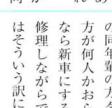
副理事長
岩井 裕一
孝博



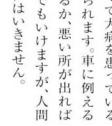
副理事長
岩井 裕一
孝博



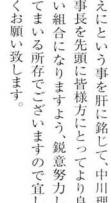
副理事長
岩井 裕一
孝博



副理事長
岩井 裕一
孝博



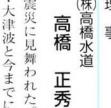
副理事長
岩井 裕一
孝博



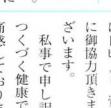
専務理事
松浦 一郎



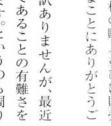
副理事長
岩井 裕一
孝博



副理事長
岩井 裕一
孝博



副理事長
岩井 裕一
孝博



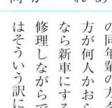
副理事長
岩井 裕一
孝博



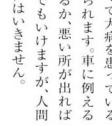
専務理事
松浦 一郎



副理事長
岩井 裕一
孝博



副理事長
岩井 裕一
孝博



副理事長
岩井 裕一
孝博

青年部

高松市上下水道工事業協同組合 青年部会会長 高尾雄一

平成23年も「あつ！」と言う間に終わってしまい、また新しい年を迎えるました。

来期、平成24年度は青年部会創立から10年目という一つの大きな節目の年となります。

阿野部会長(現副理事長)のもと25名の部会員でスタートを切つ

た青年部会は、この9年間に10名の先輩方が青年部会を卒業されましたが今年度は設立時と同じ人数25名で活動を行なっています。

水源地のボランティア清掃・技術講習会などの地域貢献活動や勉強会、納涼会・新年会といった会員相互の交流のための飲み会、

ホームページの開設やメーカー企業様の工場見学などの研修事業などなど活動の幅も多少なりとも広がってきました。そして平成24年度には、これまでの青年部会の活動の歩みをご報告する場を設けさせていただき、青年部会を創つていただいた中川理事長をはじめとする親組合の皆様、そして青年部会の活動を支えていたOBの皆様への感謝の会としたいと考えています。

最後に、この場をお借りしまして本年も青年部会への変わらずのご指導・ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。

旧年を振り返つて

株式会社平井設備 平井 慎一郎



旧年を振り返つて、忘れてはいけない大きな出来事は、3月11日の東日本大震災です。ニュースで流れる映像には、津波によって流される家や車など、目を覆う光景。また、福島原発では緊迫した映像。

東日本大震災で、命を落とされた方々には、謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りいたします。

自分自身、あの未曾有の大災害をテレビで目の当たりにして、これから何をしていけばよいか考えてみれば、水道工事に携わっているので、水に関してなら何かできるのではないかと思いました。

被災者の方々は、大変飲み水に不自由されている様子が見て取れないので、一個人では何もできないで高松市上下水道組合の活動を通じて、いろんなボランティア活動や災害時の復興活動に積極的に参加して行きたいと思います。

また、個人的には旧年中に代表取締役に就任したので、諸先輩方にはいろいろとご教授を賜わり、少しでも父に追いつけるように日々努力していくたいと思います。

総合防災訓練

9月1日



トリムの祭典

10月10日



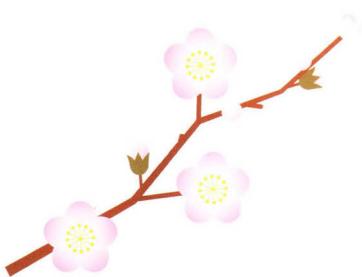
配管技能者講習会

11月2日



研修旅行

11月25日・26日



全管連 広報委員会並びに組合取材

11月9日・10日



臨時総会

12月8日



技能検定準備研修会

12月7日・9日



協力会員紹介

Cooperation member introduction

渡辺バイプ株式会社

高松営業所 小野坂 哲



前澤給水工業株式会社

四国営業所 梶原 洋二



株式会社川西水道機器

柳瀬 真太郎

高松市上下水道工事業共同組合様におかれましては日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

平素は組合員の皆様方に日頃格別のお引き立てを賜りまして、厚くお礼申し上げます。

弊社は設立以来、給水装置の総合メーカーとして、サドル付分水栓、止水栓、継手等、製品の設計・製造・販売を行なっております。また、近年は

従来の埋設製品にとどまらず、屋内配管や床暖房に使用される製品の開発または水道メーターニュル入と水に係わる事業を拡大しております。

昨年は未曾有の大災害が起き、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げると共に、弊社はライフルラインを守る企業として被災地の復旧支援に全力で取り組んでまいります。また震災直後においては流通ルートの確保が困難になり、組合員様多数にご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。組合員様の過度な在庫発注もなく落ち着いた対応のおかげで、流通によるパニックは最小限に留められたと思います。今回の震災を糧とし弊社の技術にさらに磨きをかけるために常に新しい知識を吸収し、より高度な製品作りにチャレンジしていく、今後も柔軟な発想と豊かな創造力、また今まで築き上げた技術力を活かして邁進してまいりますので

当社は、2010年12月24日付をもって全国管工事業協同組合連合会と「災害時における復旧活動の応援協力に関する覚書」を締結いたしました。

この覚書は、震災等の発生時にライフルライン復旧のための資材供給を円滑に行なうことを目的としており、全国の管工事組合とともに、早期に災害復旧ができる協力体制を築いていこう」というものです。

当社は、人々の暮らしを支える企業として、これからも「元気で快適な生環境」を皆様にご提供するための取り組みを進めています。家作りや町作りは、上下水道、ガスやお湯というライフラインの構築なしには何なりません。万が一、上下水道が寸断されると何千、何万人という人々の暮らしに大きな影響を及ぼすので素早いフットワークで確実にサービスを提供していく所存です。

今後とも渡辺バイプをどうぞ宜しくお願ひいたします。

昨年は未曾有の大災害が起き、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げると共に、弊社はライフルラインを守る企業として被災地の復旧支援に全力で取り組んでまいります。また震災直後においては流通ルートの確保が困難になり、組合員様多数にご迷惑をおかけしましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。組合員様の過度な在庫発注もなく落ち着いた対応のおかげで、流通によるパニックは最小限に留められたと思います。今回の震災を糧とし弊社の技術にさらに磨きをかけるために常に新しい知識を吸収し、より高度な製品作りにチャレンジしていく、今後も柔軟な発想と豊かな創造力、また今まで築き上げた技術力を活かして邁進してまいりますので

当社(株)川西水道機器は香川県の地元企業として昔から組合様と共に育ち、共に歩んで参りました。当社の創業者であります川西千太郎は元高松市水道局の職員であり、定年後、水道局時代に自分がほしかった継手を「無いのであれば自分で作ろう」との考えにより昭和27年(有)川西水道機器工業所を立ち上げ、当社の原点であります「SKジョイント」を作り上げました。その時には専用の工作機械が無かつた為、旋盤機から自分で作り上げたとの事です。(ちなみに「SK」の意味は「千太郎」「川西」のイニシャルから取られています)その後昭和55年に本管用継手「SK-Mジョイント」を発売、昭和56年には現在もご好いいただいでおります「ネオSKジョイント」の発売となりました。「困った時にはSK」という事で、皆様にたいへん可愛がっていただいている事を心より感謝致します。そして、新たに、昨年より全口径においてストップリング(離脱防止金具)を標準装備させた「SKX」を発売、より安心して使っていただけます。SKシリーズとして、これまで同様皆様に可愛がついただけの商品を目指しております。「施工者に利便性、ユーザーに安心・安全をもたらす継手」を念頭におき、これからも精進してまいりますので継手で困った際には是非とも御一報下さい。今後とも(株)川西水道機器をよろしくお願ひいたします。

三十年になりました

水明会会長 福田悦子



明けましておめでとうございます。

水明会が生まれて三十年になりました。会員は三十代から八十年代と年齢層に幅がありますが現在三十名です。ちょうど中間層の会員さんがリーダーシップを發揮して下さり幅広い年の差をうまくまとめて、一年の行事をこなしています。

振り返ってみますととても多彩なイベントが多く、その時々の当番になつた人が力や知恵を出し合つて協力した賜物だと思います。なかでも、私個人的にダントツと思うのは中條文化振興財団(番町)のお茶室で少し本格的なお茶会をしたことです。待合の生け花、お茶室のしつらえ、茶道具の段取り、お菓子の手配、お料理の吟味など準備は本当に大変だったこととと思います。そのお陰でとても勉強になり思ひ出深いものになりました。タンスで眠つてある大好きな着物でお越しくださいというものでみんなとても艶やかでまたまつとりとした美しさで、お互にきれい!と褒めあつたものでした。(お互に:…というのに少々難ありですが)

その次に印象深いものは、今はおやめになりましたが“辰巳”という料亭で新年会を開いたときのことです。(男性はどんなと

ころへ行くのかという社会見学も兼ねて)女性たちがゲームをしたり和気あいあいとした雰囲気で集つてることに女将さんが意気を感じて踊りを踊つてくださつたのです。辰巳の女将は名うての踊りの名手で「俵星玄蕃」をご披露下さいました。高松では右に出る人はいないといわれるその見事な踊りは今も目の奥にやきついています。会員一同感動したのはいうまでもありません。

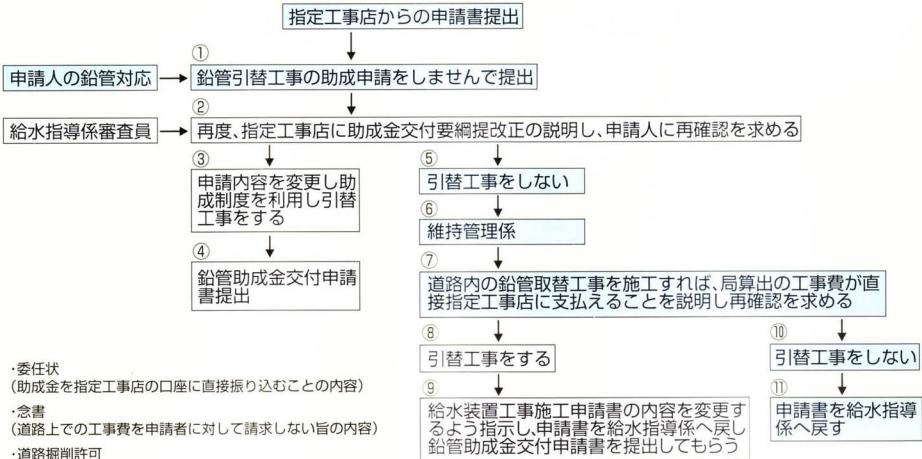
そのほか水道週間に“女性でもできます!”の看板を掲げてバッキンの取替を教えたこと、阪神淡路大震災のときは老眼鏡を集めて避難所を廻つたことなど思い出つきません。

最近では講師を招いて健康に関する勉強など女性ならではのアイディアで毎回楽しい勉強会を催しています。

当番になつた人たちが協力し、心くばりをして行事を取り仕切るというよき伝統が生まれ、水明会を支えているように思います。三十年の間に女性の社会的向上が進み、その力には目を見張るものがありますが、あくまで女性として潤いを忘れず内助の功を發揮するという水明会会則の前文に基づ

- ・委任状
(助成金を指定工事店の口座に直接振り込むことの内容)
- ・念書
(道路上での工事費を申請者に対して請求しない旨の内容)
- ・道路掘削許可

給水装置工事施工申請書提出からの鉛管対策対応



高松市上下水道工事業協同組合 災害・緊急・漏水事故修繕ネットワーク組織表

H23.12



平成23年度高松市上下水道工事業協同組合・会議

平成23年度臨時理事会

開催日時/平成23年8月25日(木)11時～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/16名
議案/(1)9月1日防災訓練について
(2)報告事項・委員会報告・その他

平成23年度給水装置工事配管技能者講習会 全国標準

開催日時/平成23年11月12日(土)17時～
開催場所/高松市上下水道局川添浄水場
出席者数/60名

平成23年度給水装置工事配管技能者講習会 分岐穿孔のみ

開催日時/平成23年11月12日(土)17時～
開催場所/高松市上下水道局川添浄水場
出席者数/10名

第四回理事会

開催日時/平成23年10月24日(月)12時～
開催場所/組合事務所 2階会議室
出席役員/16名
議案/(1)平成23年度給水装置工事配管技能講習会について
(2)平成23年度研修旅行について
(3)臨時総会開催について
(4)報告事項・委員会報告・その他

臨時総会

開催日時/平成23年12月8日(木)18時15分～
開催場所/全日空ホテルクレメント高松
総会組合員数 58名
懇親会組合員数 72名